

決算審査特別委員会での審査状況

平成 24 年度の一般会計、各特別会計（国民健康保険事業、地方卸売市場事業、後期高齢者医療、介護保険事業、温泉事業）、企業会計（水道事業、下水道事業、病院事業）決算は、9月17日、18日、20日に開催された、議員全員で構成される決算審査特別委員会で審査され、いずれも認定すべきものと決まりました。

主な質疑を要約し、掲載します。

一般会計

質問 原子力施設の隣接地として、電源立地

地域対策交付金を受けているが、この交付金は今後どうなるか。

答弁 現時点で国から情報はありませんが、この制度がある限り申請していきます。

質問 広報やホームページでの広告料のほかに、公共施設への命名権で収入を得る考えは。

答弁 命名権は考えていませんが、宣伝のための物品の寄付を受けることについて検討していきます。

質問 十和田湖温泉スキー場の地質調査結果は。

答弁 斜度が二〇度以上のところは、耕起した場合に土砂が流れる危険があるとの結果で、それ以外の部分で花の試験栽培をしています。

質問 民生委員の業務は、相談内容が多岐にわたる上に、担当範囲も広

く大変なので、抜本的に見直すべきと考えるが、現在の待遇などは。

答弁 活動費として年間四万八千円が支給され、一人当たり百二十世帯から二百八十世帯を受け持っています。

質問 自殺対策緊急強化事業の内容は。

答弁 傾聴ボランティアの養成をしています。

質問 中学校に出席き、命の尊さを学ぶ講座を開催する考えは。

答弁 至急検討し、対応したいと考えています。

質問 米粉の加工品製造開発を委託しているが、その成果は。

答弁 米粉を使ったスイーツの開発や、米粉うどんなどにより、市民が関心を向けるようになりました。今後は、成果を数字で表せるよう検討します。

質問 十和田市にとって畜産振興は重要であり、老朽化した食肉センターの改築等に即応した畜産振興計画が必要では。

答弁 畜産振興をいかに進めていくか、新たな観点で検討したいと考えています。

質問 今年度から消費生活センターが設置され、消費生活相談の件数がふえている。また、犯罪の手法が悪質、巧妙化し、高齢者の被害も増加している。これらに対応するための相談員の研修は。

答弁 相談員は、この業務に当たる前に約五十日間の研修を受けたほか、国民生活センターでの研修も受けています。

質問 除雪時の雪置き場は足りているか。

答弁 平成二十四年度は六十二カ所設置しましたが不十分でした。今年度は百カ所の設置を目指しましたが、最終的には六十七カ所になる見込みです。

質問 工業高校と東小学校の間の道路を、南側に延ばす考えは。

答弁 これまでは鉄道があつたため困難でした。南への延伸に向けて、今

年度大学通りまで予備調査したいと考えています。

質問 消防団に女性の分団をつくる考えはないか。

答弁 消防団と協議しながら、設置のあり方等について調査研究したいと考えています。

質問 心の教室相談事業について、相談員八名では少ないのでは。

答弁 小学校、中学校に相談員を派遣し、相談回数は、合計五千四百六十九回でした。相談員の数については今後検討したいと考えています。

特別会計

質問 国保会計について、一般会計から繰出しし、国保税を安くする考えは。

答弁 一般会計からの繰出金は考えていません。

企業会計

質問 水道事業で、有収率が年々低下している原因は。

答弁 現在、第七次拡

張事業を実施しており、新たに布設した多くの水道管をきれいに洗い流すために使用したことが原因と考えられます。

質問 下水道のマンホールのふたについて、交通事故等防止のため、計画的に点検、交換するべきでは。

答弁 ふたは順次交換しており、平成二十四年度は九十七カ所交換しています。

質問 病院事業について、地方公営企業法全部適用後の改善状況は。

答弁 経営改善計画により、支出削減など努力しています。一方で医療収益をふやすことも重要であり、医師に来てもらえる環境づくりにも力を入れ、何としても産科を再開したいという思いです。



決算審査特別委員会より